

質 疑 回 答 書

(業務名称) JICA北海道(帯広)外壁・屋上防水等改修工事

(公告/公示日: 2023年12月5日) について、以下のとおり回答いたします。

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	A-43		解体材の集積場所、及び、解体材荷下しにおけるレッカー設置範囲をご指示お願い致します。	解体材は、別紙1 仮設計画図 仮囲いの範囲内に集積すること。 レッカー設置範囲は、現場定例会議にて協議の上決定する。
2	A-3		仮囲いは不要と考えて宜しいでしょうか? 必要な場合は、仕様、及び、数量のご指示をお願い致します。	別紙1 仮設計画図参照。なお、本工事期間中、別案件の「衛生・空調配管等更新工事」が同時並行して実施されるため、特定元事業者が複数ある状況となる。このため、本案件受注業者を統括安全衛生管理義務者として指名する予定である(安全衛生法30条)。これに係る調整業務の工数も見積金額に含める必要がある。
3	A-43		仮設計画図において、仮設事務所(作業員休憩所)の設置位置が図示されておりますが、設置場所には設備機器(室外機等)があり、また、搬入経路が狭小であるため設置が困難と思われます。他に設置候補場所はありますでしょうか。	別紙1 仮設計画図参照。
4	A-43		資材の搬出入における時間制限等ありますでしょうか?	特にないが、現場定例会議にて確認のこと。
5	A-43		作業時間の制限等ありますでしょうか?	基本8時から17時までとするが、それ以外の場合には現場定例会議にて確認のこと。
6	共通		騒音および振動の伴う作業について、作業制限(作業可能時間、休日・夜間作業等)はありますでしょうか。	現場定例会議にて確認のこと。
7	A-43		仮設電気・水道は施設内のものを利用できることと考えて宜しいでしょうか?	電気は利用できない。 水道は外部に子メーターを設置したうえで利用可能。
8	A-40		サッシ取り外し、新設の居室は宿泊者がいないと考えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	6月上旬から9月上旬までの3か月間は宿泊者なし。
9	A-40		宿泊室の改修工事ですが、何部屋同時に施工できるのでしょうか。ご指示願います。	上記以外の日程で施工する場合は、4部屋までとする。
10	A-35		ラウンジ・食堂の木製サッシ取替工事がありますが、工事期間中、休止していると考えて宜しいでしょうか。	8月上旬の2週間はレストランを休止する。その期間で施工すること。
11	-		工事期間中の施設利用者、及び、宿泊者はいらっしゃいますか?	No.8, 9, 10参照。
12	A-35		上記No.8, 10の質疑において、営業している場合、仮間仕切りを設置し、区画して作業する考えで宜しいのでしょうか。ご指示願います。	No.8, 9, 10参照。

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
13	共通		外部サッシ撤去・新設工事において、工事期間中は室内が外部開放状態となりますが宜しいでしょうか。	宜しい。但し、可能な限り室内への影響を少なくすること。
14	A35～A39		破線2重丸表記（撤去）、かつ、実線2重丸表記（新設）とありますが、既存サッシ枠共の撤去、及び、新設と考えて宜しいでしょうか？	宜しい。
15	A35～A39		既存サッシの枠共の撤去・新設の場合は、躯体の抱き部分の破損防止の為、極力カッターによる縁切りの上、電動ピックを使っての斫り作業になります。よって、室内の粉塵対策養生等が困難と考えるため、既存枠を残した、カバー工法による既存撤去・新設に変更できますでしょうか？	No.14参照。
16	A35～A39		既存サッシ撤去後（枠共）の場合の内部ボード張りはG L工法になるのでしょうか？	既存がG L工法の部分は可。
17	A-40		既存サッシ・木枠撤去後のサッシ詰モル、断熱数量の記述がありません。ご指示お願い致します。	既存下地木レンガに取付とする。断熱補修は行う。
18	A-40		既存サッシ撤去後の断熱の補修は1液タイプ（熱伝導率0.036w/mk）で宜しいでしょうか？	宜しい。
19	A-40		既存サッシ撤去におけるタイルカーペットの撤去・既存カットの上、復旧等の数量、及び、範囲をご指示お願い致します。	1列1枚分とする。
20	A-40		内窓枠取付の為の下地は、木レンガで宜しいでしょうか？	宜しい。
21	A-40		既存建具撤去・新設部の開口部廻りの納まりについて詳細図（寸法記入、取付、及び、補修仕様）をご指示お願い致します。	部分詳細図1にて算出すること。
22	A-40		既存建具撤去・新設における内部既存仕上げ材の撤去・新設の範囲、項目等が増えた場合は、金額増減の対象と考えて宜しいでしょうか？	協議の上決定する。
23	A-40		既存建具撤去後のカーテンBOXの取付方法の仕様・納まりをご指示お願い致します。	取付下地はPL-4.5加工@450程度。勾配面をカーテンボックス同材にて納める。
24	A-40		改修宿泊室バルコニーの手摺丸太100φ新設とありますが、木の種類が不明です。ご指示願います。	ヒバ程度。協議により代用樹種も可とする。
25	A-40		改修宿泊室バルコニーの木製スノコ新設とありますが、木の種類が不明です。ご指示願います。	ヒバ程度。協議により代用樹種も可とする。
26	A-40		宿泊室のカーテンボックス新設とありますが、特記では集成材となっておりますが、木の種類が不明です。ご指示願います。	タモ程度。協議により代用樹種も可とする。

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
27	A-40		宿泊室カーテンボックスの上部に25*210UCとありますが、木と考えて宜しいでしょうか。又、取付ピッチが不明です。ご指示願います。	宜しい。勾配面とする。
28	A-40		宿泊室の三方枠25*175新設、敷居60*175新設とありますが、木の種類が不明です。ご指示願います。	タモ程度。協議により代用樹種も可とする。
29	A-09 A-40		宿泊室のカーテンボックスは新設になりますが、特記仕様書では「カーテンレール：新設」、「カーテン：再利用」と記載があります。記載の通りでよろしいでしょうか。	宜しい。
30	-		既存居室等の家具・備品等の移設が必要な場合は、別途工事と考えて宜しいでしょうか？	本工事とする。
31	A-13		瓦葺きのカバー工法は0.4mmまでしかできない為、0.4mmのカバー工法と考えて宜しいでしょうか？	設計図書通りとする。
32	A-13		フッ素樹脂鋼板は、1500㎡以上でないと、新規ロットによる製作にならない為、かなりの単価アップになり現実的な金額では無いと考えます。ガルバリウム鋼板0.4mmのポリエステル樹脂塗装品と考えて宜しいでしょうか？	設計図書通りとする。
33	内訳書P10 A-27 A-41・42		屋根2・3・7・8において、断面詳細図および部分詳細図には下地ラワン合板の表記がありませんが、内訳書には記載されております。設計図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しい。
34	内訳書P11 A-27 A-41・43		屋根2・3・7・8において、内訳書に「軒先納め・ケラバ納め・ケラバ雨納め・棟納め・水上雨納め」の木下地が表記されておりますが、部分詳細図等に記載がありません。使用箇所および木柄をご指示願います。	該当部について適宜木下地を見込むこと。
35			外部改修については全て同時に施工できると考えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	宜しい。
36	A-05 A-13		既存塗膜等の除去ですが、特記仕様書ではサンダー工法（既存仕上面全体）となっておりますが、仕上げ表ではRB種（劣化部）となっております。特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	仕上げ表を正とする。
37	-		外部・内部改修におけるアスベストの含有は無いものと考えて宜しいでしょうか？	施工者にて事前調査を行うこと。